

代表取締役 田中秀司

新年明けましておめでとうございます

専務執行役員 富樫和行

新年明けましておめでとうございます！

昨年は、コロナの影響もあり、本当に過去にないきっと歴史に残るでしょう。激動の一年でしたね。皆様も、経験のない出来事ばかりだったのではないか。当然ながら大変な事が多かったかと思いますが、緊急事態宣言中に、ほぼ全てのメンバーがリモートワークを経験し、どんな状況下においても「できる事」を必死に探し、共に取り組んでゆく体験ができた事など、皆さまのしなやかな強さを再認識できた事も多かったです。

今年の世界情勢・国内情勢、業界情勢は、濁っていて視界が悪く、何が起きるか予測しがたい「泥の中」のような状況です。そのような状況下の場合、平時以上に組織間、個人間において「差」が生まれます。

何ができるか?」にフォーカスできる人や組織は、変わらず伸びてきますが、「こんな状況でどうしたら良いの?」と環境のせいにする人や組織は当然ながら停滞してしまうでしょう。

有名なダーウィンの進化論では、最も強い者が生き残るのではなく最も賢い者が生き延びるのもない。唯一生き残ることが出来るのは変化できる者である。」とあります。

※自然界においては「環境変化が起きると、適者が変わり、結果として生き残る種が変わる」という結果論ですが、人間社会や人間は、自ら「変化」をする事が可能な世界の為、このような表現が生まれたと考えられます。)

泥の中でもしつかりと目を開けた根から真っすぐ茎を伸ばし、綺麗な花を咲かせる蓮華のようにならぬか。環境にめげずに、しなやかに力強く変化し、公私ともに前進して参りましょう！

100年企業、業界日本一を目指して： 本年も宜しくお願ひ致します！



激動の二〇二〇年が終わり、二〇二一年が始まります。痛みを伴う幕引き、辛いことが多いだけに大きな希望が芽生える年になる予感がします。

必ずや良いことが起きると信じ、自分たちのできること、やるべきことをしっかりとやっていくことが重要です。

KDDIとUQコミュニケーションズは、昨年の五月に統合となり十月には「au」と「UQモバイル」の2ブランドで展開しております。統合によって5G本格化に向け、グループ経営資源の集約による営業体制、サービス競争力の強化、事業構造効率化、によりお客様から信任を受けたこと間違いないでしょう。今後はUQモバイルを新たに取り扱うことで、低廉でかつ安心な通信サービスで、すべてのお客様に新たなライフスタイルを提案していくことで明るい未来が来ることになるでしょう。

料金プランは今年の一月には発表されます。KDDI高橋社長は、「当社といたしましては競合他社との競争こそがサービス等をよりよくしていくものと考えております。当然、お客様にお選びいただける競争力のある料金プランをお届けしたいと考えております」とコメントしています。きっと、一月初旬にはau、UQでも新しい料金プランで道を開いていきましょう。

十一月よりKDDIはライフデザインサービスの複合的な提案で新たに体験価値を実現する店舗として「E-Space」を新たに展開しています。当社のauショップは順次、auショップが新たに「E-Space」として生まれ変わつていきますのでauおよびUQモバイルの商材をはじめauひかり、auでんき、auじぶん銀行など様々なライフデザインサービスを取り扱うことで人々の生活や社会に向けて中核事業である通信の枠を超えて金融やエネルギー、コマース、教育など様々な体験価値の提供に挑んでいきたいのです。

そのためには心身を鍛えてほしいのです。大きな夢を持ち、志を立ててみてもよいのではないか。本気になって真剣に志を立てよう！生命をかけるほどの思いで志を立てよう！志を立てれば、事はもはや半ば達せられたといつてもよい。志を立てるのに老いも若きもない。そして志あるところ、老いも若きも道は必ず開けるものです。

百年企業を目指し、途中経過としてKDDIショップ五十店舗近いうちに達します。大事なことは自分自身の志にある。志を立てよう！自分のために、友のために、両親のために日本のために田中電子のメンバー全員が人を軽んじずに社業に邁進し、社業を通して心を育てその過程で人としての徳、人の集合体である会社組織としての徳を高め、豊かで健全な社会の発展に貢献し続け、日々精進してまいりましょう。